

~KENSYU~

谷地南部小学校
ICT 研修だより
2023. 2. 20
No.8 文責 伊藤

授業内でのICT活用

前回までは、ICTの基本的な部分やGIGAスクール構想について文章を書いてきましたが、今回からは具体的な活用の仕方についてご紹介します。主に、子ども達がどんな場面で使えるかについて書くことにします。

《国語》

初発の感想	話す活動・スピーチ	作文などの下書き
紹介文や帯・ポップ	レポート	お話づくり

《算数》

問題づくり	図形の問題を解く	図形を描く
習熟問題等の時 自由進度学習・選択学習		

《社会・理科》

個人の問い・疑問の 共有・集約	校外学習の記録写真	実験や観察の記録 (写真・動画)
新聞づくり	動画コンテンツの視聴	調べ学習(検索・まとめ)

《音楽・体育・家庭科など実技教科》

実技の記録・テスト	模範の共有	作戦や計画の全体共有・編集
学習カードのデジタル化	動画コンテンツの視聴	楽器の演奏体験

その他にも、すべての授業を通して「めあて」と「ふり返し」での活用ができます。もちろん毎回「文字で」「タブレットで」は大変だと思いますが、残しておくことで子どもたち自身も自己の変容を感じることができます。また、秀樹先生が実践されているように、道徳の各授業で繰り返し使っていけば、担任もそれぞれの子ども達の学びを把握することができ、そこに残っている思考の跡やふり返しなどが所見の記述にも大いに役立ちます。(紹介していただきながら、私自身もまだ取り組めていませんが…。)

私が思う主なICTの良さは、「残ること」「大容量なのに軽いこと」「共有が容易なこと」です。何枚もプリントを印刷したり、クラス全員のノートを持ち運んだり、子ども達のプリントがなくなったり汚れたり…。そういったことで悩む必要は、もうなくなってきているんです。

「そんないいことばかり並べられても」という声も聞こえてきそうです。もちろん、いい面ばかりではなく、気をつけるべきこともたくさんあります。そこで、次回からは、教科毎のさらに具体的な場面をあげて紹介したり、欠点や注意点などを中心に書いていきたいと思っています。To be continued...